

12月市議会が開会 物価高騰・コロナ禍から 市民のいのちとくらしを守る市政に

11月30日に川口市議会12月定例会が開会しました。今議会では一般質問に金子ゆきひろ議員、板橋ひろみ議員が登壇し、みなさんから寄せられた声を市政に届けます。

市長から提出された議案は予算議案として一般会計補正予算は31億9235万3千円の増額(新型コロナウイルス対応協力医療機関への補助金の増額と発熱外来の医療従事者への慰労金など5億7569万円、原油価格高騰による燃料費・光熱水費の増額2億9000万円、民間保育所等の整備2億6300万円など)、後期高齢者医療と区画整理事業の2つの特別会計補正予算が計上されています。一般議案では国の個人情報保護法の改定に伴い市で「個人情報保護に関する条例」と関連する条例改正4本などをはじめ条例議案12件、財産の取得(GIGAスクール端末)、訴えの提起5件、公の施設の指定管理者の指定(新郷たたら荘、めぐりの森、アートギャラリー他、戸塚スポーツセンター他)などが上程され審議されます。

議会の日程

12月9日(金)一般質問 15時～金子ゆきひろ議員

- 水道法の目的に沿った水道事業を
- 物価高騰対策への市独自の追加支援策について

12日(月)・13日(火)一般質問

14日(水)一般質問 10時～板橋ひろみ議員

- 来年度予算編成について
- 子育て支援と教育施策の充実を

15日(木)一般質問

19日(月)常任委員会(福祉保健、環境経済文教)

20日(火)常任委員会(総務、建設消防)

23日(金)閉会

12月市議会を前に開かれた議会運営委員会に日本共産党市議団は「インボイス制度の導入延期を求める意見書(案)」「高すぎる国民健康保険税の軽減のため公費負担を増やすことを求める意見書(案)」「義務教育予算を増額し、教員が教育に専念できる条件整備を急ぐことを求める意見書(案)」の3本の意見書案を提案しました。

今号では「インボイス制度の導入延期を求める意見書(案)」の全文を紹介します。

「インボイス制度の導入延期を求める意見書」 (案)

消費税の増税後に始まった新型コロナウイルス感染症による経済不況の中、円安による急激な燃料・物価高騰が追い打ちとなり、本市における中小企業・小規模事業者も大きな打撃を受けている。2021年度の消費税の新規発生滞納額は5,121億円となり、コロナ前の2019年度に比べて1,000億円以上も増えている。このままでは、消費税が払えなくて倒産・廃業する事業者が続出する可能性も出ている。

国は2023年10月からインボイス制度(適格請求書等保存方式)を実施しているが、日本商工会議所は9月15日、「令和5年度税制改正に関する意見」を発表し、免税事業者の取引排除等による倒産・廃業の可能性や、現行の「区分記載請求書等保存方式」にどのような問題があるのかなどを含めた徹底検証を政府に要望した。また検証後、現状での影響に鑑みて制度導入後の混乱が避けられない場合は、「導入時期を延期すべき」としている。

また、数百万もの小規模事業者やフリーランスが、インボイスを発行するために消費税課税事業者になることを余儀なくされることが想定され、全国で70万人の会員がいるシルバー人材センターも経営が脅かされることが懸念されている。多くの中小業者の団体が延期や見直し・中止を求めている。

世界各国では中小業者支援等で、相次ぐ付加価値税(消費税)の減税が行われており、実施した国は国連加盟国の45%を超えた。付加価値税の対策は世界の大きな流れとなっており、中小企業・小規模事業者への早急な支援が求められている。よって、国においては、この経済状況に鑑みて当面インボイス制度の導入を延期するよう強く要望する。

国への予算要望を提出し、 各省担当者との質疑によって 次年度予算に反映させるための行動

日本共産党川口市議団は、市民団体や皆さんの要望・ご意見を反映させ、9月2日に国会議員団埼玉事務所宛てに「2023年度の国と県への予算要望」を提出しました。国への要望は、上下水道事業における更新費用への国庫補助の増額など8項目。県への要望は、肢体不自由児が通学出来る特別支援学校の新設など29項目です。

要望書は埼玉県内の各自治体の市町村議員団から提出の上、集約されて11月18日午後1時30分～3時間の予定で参議院会館地下会議室において伊藤岳、岩淵とも参院議員、塩川てつや衆院議員、埼玉県議会議員団、埼玉県内市町村議員総勢78名が参加して国との話し合いが行われました。川口市からは村岡正嗣県議、山崎すなお県政対策委員長、井上かおるが参加しました。



質疑応答は水道事業、医療体制、医療費負担軽減、障害児・者、介護保険制度などの問題点を厚生労働省と、3時から地方創生臨時交付金やLGBTQに関して内閣府・法務省と、3時40分より少人数学級、教員配置、教育費負担軽減、県内への医学部設置など文部科学省と、4時10分から米価暴落対策や資材高騰で苦しむ農家支援などを農林水産省と行いました。（各省からは参事官始め担当係長などが出席しました。）

この日の主な柱としては、①コロナ対策 ②公的・公立病院の統廃合、医学部定員の削減中止 ③障害者入所施設利用削減を都道府県に押し付けない事 ④学校タブレットの公費負担 ⑤水道管耐震化の助成引き上げ ⑥国保税均等割廃止 ⑦子ども医療費無料化を国の制度に ⑧学校給食無償化 ⑨河川改修・治水対策などで、県議団や市町村議員から現状説明や強い要望が出されました。川口市として「水道施設への国庫補助の増額」や「学校給食の無償化」、「少人数学級の推進、教員増」などを訴えました。

皆さんの声を市政や県政、国政に届け実現に向けて努力していくのが私たちの役割であり、政治を動かすことへの一歩となることに、確信をもって頑張る所存です。

統一地方選挙の日程について

来年4月に任期満了となる埼玉県議会議員一般選挙、
川口市議会議員一般選挙の日程が発表されました。

埼玉県議会議員一般選挙

〔告示日〕 2023年3月31日(金)
〔投票日〕 2023年4月9日(日)
〔開票日〕 即日開票 午後8時40分開始予定

川口市議会議員一般選挙

〔告示日〕 2023年4月16日(日)
〔投票日〕 2023年4月23日(日)
〔開票日〕 即日開票 午後8時40分開始予定

※今回の投票所の変更はありません。青木会館・赤井町会会館・鳩ヶ谷公民館は従前どおり投票所となる予定です。



郵便等による不在者投票・代理記載制度について

身体障害者手帳か戦傷病者手帳をお持ちの方、介護保険の「要介護5」以上の方は郵送による投票を行うことができます。また、ご本人が投票の記載をすることが出来ない方のために、郵便等で投票するための代理記載制度もあります。

対象者は身体障害者手帳に両下肢、体幹、移動機能の障害の程度が1級又は2級。また心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の障害の程度が1級又は3級。免疫、肝臓の障害の程度が1級から3級。戦傷病者手帳も同様の記載がある方、「要介護5」以上の方などです。

●詳しくは●

選挙管理委員会 048-259-7940(庶務係)
又は、党市議団まで